

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 23 年度第 1 回高松市中央卸売市場開設運営協議会
開催日時	平成 23 年 10 月 7 日(火)午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
開催場所	高松市中央卸売市場 5 階 大ホール
議 題	(1) 市場経営の方向の検討について (2) 施設整備について (3) 開かれた市場づくりの推進について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	川田委員，釜野委員，加藤委員，横峰委員，橋田委員，伊勢島委員 欠席 4 名
傍 聴 者	2 人 (定員 6 人)
担当課および連絡先	中央卸売市場業務課管理係 862-3411

審議経過および審議結果

議題 1 市場経営の方向の検討について

平成 23 年度高松市中央卸売市場の経営の方向性に関する検討・調査業務の委託業者である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社および事務局より説明したのち，質疑応答がなされた。

議題 2 施設整備について

本年度の本市市場の施設整備計画について事務局より説明したのち，質疑応答がなされた。

議題 3 開かれた市場づくりの推進について

本年度の食育等市場 PR 事業について事務局より説明したのち，質疑応答がなされた。

主な審議内容

(委員)

生産者の視点から、地方卸売市場のほうが動きやすいように思われる。一方、荷物が集まるかどうかという不安があり、生産者としても「格落ち」というイメージを持っている人もいる。

また、品目によっては、高松に出荷せず他市場に出荷するケースもある。

(委員)

他市場のヒアリングをされているが、いずれも転換の背景が異なる。高松市中央卸売市場の形態ではどうなるのかを検討しないといけない。

信用力の低下が無いといわれているが、表面上の差異は無いが、中央と地方の場合では、行政の関与が違うので、監査が大事であり、またどうしても看板を気にしてしまう。もっと深く検討していかないといけない。

(委員)

四国という地は、輸送コストが高くなるので、他市場よりも高く販売しないといけない。実際は困難であろうから、中央卸売市場という看板は大事である。

地方卸売市場になると、卸売業者と仲卸業者の垣根が無くなり、卸売業者や仲卸業者が扱う数量は変わるが、せり場での取引が少なくなる。地方都市の中央卸売市場の使命である地域密着として、売場や小売業者を守らないといけない。

(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社)

産地といえども、高齢化の状況下で、生産力が落ちていくのは否めなめず、遠隔地は不利になる。信用力は関係ないと聞いているが、不安があるならば選択しないほうがよい。

一方で岡山市場や富山市場など、市場間競争が激化している市場は、自由な取引形態を取ることの重要性を選択したと感じている。

(委員)

調査市場は仕方なしに地方卸売市場転換を選択したと読み取れる。事務量の減少についても、大きな変化は無い。単純に考えると、この数値のための議論なのか。消費者としては、身近にあるものが安心安全で、見える場所で

取引されたものを使いたいというのが望みである。地方卸売市場になった時に、市民生活はどうなるのか。

また、信用力とは誰のための信用力なのか。

(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社)

産地から見た信用力である。品揃えが悪くなると考えると、消費者にデメリットが出る。安全性からの視点からは、積極的に取り組んでいる地方卸売市場もある。

(委員)

まず、数値的な判断材料を明確にして欲しい。

(会長)

直接的には中央卸売市場や地方卸売市場は関係なく、市場の信用力が大事である。産地と市場との普段の付き合いが大事なのではないだろうか。また、地方卸売市場になったからといっても、取引単価が上がるわけではないので、輸送費にしても四国は大きなデメリットを持つ。今後、取引委員会との協議を密にしていきたい。

(事務局)

部門ごとに事情が異なるため、個別に協議を行っていく。

(委員)

産地（出荷団体）の信用力は「中央卸売市場」という国の認可であり、半期に一度、経営状況を報告して、審査されていることに由来する。

(会長)

必要に応じて取引委員会を開催して検討して欲しい。中央卸売市場の看板は大きいのであろう。

(委員)

指定管理者制度をする、しないは別にして、とても有益な調査である。今後は、細かな調査を重ねることで、今後の高松市中央卸売市場の方向が見えていくだろう。

(委員)

市としての方向性として、業者にも行政にもメリットのある体制作りを検討して欲しい。